

【大問1 問二】

配点：12点

(各2点)

- (1) 妨(げ)
- (2) 念頭
- (3) 陥(り)
- (4) 到底
- (5) 矛盾
- (6) 秩序

【大問1 問二】

配点：5点

- 工 (5点)

【大問1 問三】

配点：9点

- a
- イ
- b
- エ
- c
- ア (各3点)

【大問1 問四】

■問題用紙4、5ページ、第四段落の内容を説明する問題

■形式上の不備

- ・文末表現…「〜な人物」「〜な人」などの体言で終わっていない場合は**1点減点**
- ・句点の扱い…句点抜けの場合**1点減点**
- ・その他共通減点基準に従い減点

基準 配点…7点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A B C

法律に関する知識の蓄積に終始し、法律的に物事を考える力が発達していない人物。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…40字以内。31字以下のものは「字数不足」と表記した上で**1点減点**。字数超過は全体不可（0点）

■要素A 法律に関する知識…2点

■要素B 蓄積に終始…2点

■要素C 法律的に物事を考える力が発達していない人物…3点

【大問1 問五】

■問題用紙5、6ページ、第五段落の内容を説明する問題

■形式上の不備

- ・文末表現…文末が「ということ」につながらない場合は1点減点
- ・句点の扱い…句点が文末にある場合は1点減点
- ・その他共通減点基準に従い減点

基準 配点…12点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

C

B

既存の規則や先例に基づいた判断をしたり、過去や未来の事例までも考慮した基準を新たに作

D

ったりして、問題となっている物事を公平に処理できる

■採点方法…各要素単独採点

■字数…70字以内。55字以下のもは「字数不足」と表記した上で1点減点。字数超過は全体不可(0点)

■要素A 既存の規則や先例に基づいて、一定の判断を下す…3点

■要素B 新たな基準を立てる…3点

■要素C 要素Bの「基準」は、過去や未来の事例までも考慮したものである…3点

■要素D 公平に問題解決を図ることができる…3点

【大問1 問六】

配点…5点

■ア (5点)

【大問2 問1】

配点：12点

■ (1) ウ

(2) ア

(3) イ (各4点)

【大問2 問2】

配点：6点

■ 才 (6点)

【大問2 問三】

■傍線部A「ふたたび、恐怖が私の前進をはしった。」のように「私」が感じた理由を80字以内で説明する問題

■形式上の不備

- ・文末表現…「から」「ため」など理由を答える形式でない場合**1点減点**
- ・句点抜けは**1点減点**
- ・その他共通減点基準に従い減点

基準 配点…11点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

博士が呼び寄せた家鴨を指して、人間であるはずの婦人の名前で紹介した上に、その家鴨と同じ

B

C

目をして見つめ合っており、人間味を帯びていないように感じられたから。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…80字以内 **63字以下のものは字数不足と表記した上で1点減点。字数超過は全体不可(0点)**

■要素A 博士が家鴨を人間であるはずの婦人の名前で紹介した…3点

■要素B 博士と家鴨が同じ目をして…4点

■要素C 博士に人間味を感じなかったから…4点

【大問2 問四】

■博士の目が、「どんなとき」「どのような目に」変化するかを60字以内で説明する問題

■形式上の不備

- ・文末表現…「変化する」に準ずる表現でない場合1点減点
- ・句点抜けは1点減点
- ・その他共通減点基準に従い減点

基準 配点：9点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

B

C

家鴨と接するときは 焦点のないぼんやりとした家鴨のような目に変化し、人間と話すときは

D

穏やかな親しみ深い人間の目に変化する。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…60字以内 47字以下のものは字数不足と表記した上で1点減点。字数超過は全体不可
(0点)

■要素A 家鴨と接するとき…2点

■要素B 焦点のないぼんやりとした家鴨のような目になる…3点

■要素C 人間と話すとき…2点

■要素D 穏やかな親しみ深い人間の目になる…2点

■【大問2 問五】

配点：6点

イ

(6点)

■【大問2 問六】

配点：6点

イ

(6点)

【大問3 問一】 配点：10点

■ (i) A ア (2点)

B イ (2点)

■ (ii) A 聖宝 ※聖宝僧正、東大寺の聖宝という表現も可 (3点)

B 仏 ※大仏という表現も可 (3点)

【大問3 問二】 配点：11点

■ (i) 上座法師 ※上座という表現も可 (5点)

■ (ii) イ (6点)

【大問3 問三】

■ ③ (6点)

※3、(3)という表記であっても可。「3」という数字を示すことができなければ許容。

【大問3 問四】

■ エ (5点)

【大問3 問五】 配点：8点

■ I 渡れ ※わたれという平仮名表記でも可 (4点)

■ II ける (4点)

【大問3 問六】

■帝の言葉「今の世に、いかにかかる尊き人ありけん」を「かかる」の内容を明らかにして現代語訳する問題

■形式上の不備

・句点の扱い…不問とする

基準 配点…10点

A (2点)

B (3点)

■模範解答 今の世の中に、どうしてこのように自分を犠牲にしてまで人を正しい道へ導く尊い

C (5点)

人がいたのだろうか。(いや、いなかった。)

■要素A 「今の世に」の訳出 (2点)

■要素B 「かかる尊き人」の訳出 (3点)

① 1点

② 1点

③ 1点

自分を犠牲にしてまで 人を(正しい道へ)導く 尊い人

■要素C 「いかに…ありけん」の訳出 (5点)

① 疑問・反語の訳出 (3点) ※詠嘆は不可

② 過去推量の訳出 (2点) ※単に推量で訳出している場合は1点

【大問4 問1】

■漢字の読みの問題

■形式上の不備

- ・文末に句点があるものはすべて不可。
- ・ひらがなで書かれていないものはすべて不可。
- ・現代仮名遣いで書かれていないものはすべて不可。

基準 配点：9点

■模範解答 ※模範解答以外の解答はすべて不可。

- (1) それ (3点)
- (2) これ (3点)
- (3) すで(に) (3点)

■採点方法：解答通り（すべて部分点なし）

【大問4 問2】

■現代語訳の問題

■形式上の不備

- ・文末の句点の有無は不問。

基準 配点：10点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

X なぜ／どうして (5点)

Y そこで (5点)

■採点方法：解答通り（すべて部分点なし）

X
・「なんで」「何故」「何ゆえに」「どういう理由で」などでも可。

Y
・「ここで」「このために」「したがって」「だから」「そういうわけで」「こういうわけで」などでも可。

・「この場所で」など、「是」を特定の場所と解釈しているものは不可。

【大問4 問三】

■書き下しの問題

■形式上の不備

・文末の句点の有無は不問。

基準 配点：7点

■模範解答

A

B

C

D

われに | よく | しくこと | なきなり

■採点方法：各要素単独採点

■要素A われに：2点

■要素B よく：1点

■要素C しくこと：2点

■要素D なきなり：2点

【大問4 問四】

■読み方にしたがって返り点をつける問題

基準 配点…8点

■模範解答 ※模範解答以外の解答はすべて不可。

不_レ足_三以_二拳_二其大_一

■採点方法…解答通り（すべて部分点なし）

【大問4 問五】

■内容合致問題

基準 配点…8点

■模範解答 ※模範解答以外の解答はすべて不可。

工

■採点方法…解答通り（すべて部分点なし）

【大問4 問六】

■ 本文を由来とすることわざを答える問題

■ 形式上の不備

・ 文末の句点の有無は不問。

基準 配点：8点

■ 模範解答

井の中の蛙大海を知らず（11字）

■ 採点方法：解答通り（すべて部分点なし）

■ 字数：一〇字以上、一五字以内 九字以下または一六字以上のものは全体不可（0点）